

ぺたぺた!?ぶかぶか!?かわあそび

① 「ぶかぶか」の正体は？

川遊びを楽しみにしていたみんなの願いが通じたのか、当日は天候に恵まれました。今回はスペシャルアイテムとして、手作りの船と水中メガネを一人一つずつ用意しました。まずはみんなで位置について船を流して、誰の船が一番速いか競争です！水中メガネはバケツに水を汲んで観察したり、水をすくう入れ物代わりにしたりと、思い思いに楽しんでおられました。



②カモにトンボに“カメ”！？

徐々に川の流れや水温に慣れてきたころ、「魚いるかな?」、「さっきカモ見たよ!」と、みんなの関心は周りの生き物たちに。水中メガネも使って川の中、草が生い茂った場所をくまなく探します。少し場所を変えると、トンボを捕まえたとの声が！みんな興味津々に観察されていました。さらにカメ（飛び石）も発見。時間いっぱい川遊びを楽しんでおられました。



③ レッツ！ぺたぺた！！

午後からは屋内に場所を移し、午前川の遊びで使用したおもちゃを実際に自分たちで作ってみます！まずは、牛乳パックの船づくり。旗をつけたり操縦席を作ったりと本格的です。みんな終始集中して作りこむ様子が見られました。完成品はどれも思わず乗り込みたくなるようなオリジナリティ溢れる作品で、完成すると、早速床の上で船を走らせて楽しむ姿が見られました。



④ 好きがつまったみんなのメガネ

最後に水中メガネを作りました。真っ白な表面を好きな色、好きな模様、好きなキャラクターで埋め尽くしていきます。大好きなお母さんへのメッセージを書くメンバーもおられました。難しい部分はリーダーさんと一緒に取り組み、それぞれの個性あふれる水中メガネが完成です。選んだカラーゼロハンはお家でラップと付け替えて遊んでみてね！それじゃあ、まったねえ～！！



今月は前日まで天候が心配され、プログラムを一部変更しての開催となりました。午前の川遊びは、水かさが増している様子や流れの速さが気がかりでしたが、しっかりとライフジャケットを着用したうえで、リーダーが川下に立ち安全を確保しながら、少し深い場所でも水遊びを楽しむことが出来ました。ただ、川プログラムは常に危険と隣り合わせのため、参加者の好奇心と安全対策のバランスは今後の課題だと感じました。午後からの工作では二種類のおもちゃの制作に取り組みました。どちらも既成のものにとられない斬新な発想が数多く見られ、また船を水上以外で使用する姿から、より発展的な遊びへ繋がられることを新たに教わりました。（生田千恵）